

会 議 録

1 会議名

令和3年度第5回吉川区地域協議会

2 会長挨拶

3 議 題（公開・非公開の別）

・協議事項（公開）

（1）地域活動支援事業追加募集（プレゼンテーション等）について

（2）自主的審議事項について

（3）その他

・総合事務所からの諸連絡について

・その他

4 開催日時

令和3年7月24日（土）午前10時00分から午前11時40分まで

5 開催場所

吉川コミュニティプラザ 3階 大会議室

6 傍聴人の数

0人

7 非公開の理由

なし

8 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：五十嵐豊、薄波和夫、江村奈緒美、片桐利男、佐藤均、
高野幸夫、中村正三、橋爪正平、平山浩子、山岸晃一

・事務局：風間所長、平山次長（総務・地域振興グループ長兼務）、渡邊市民生
活・福祉グループ長（教育・文化グループ長兼務）、平原総務・地域振
興グループ班長、佐々木総務・地域振興グループ主査

9 発言の内容

【平山次長】

・会議の開会を宣言

・委員10人の出席を報告

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・会議録の確認：片桐委員

【山岸会長】

- ・挨拶

【平山次長】

- ・協議事項の進行は、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により山岸会長から議長を務めていただく。

【山岸会長】

- ・議長を務めさせていただく。なお、議事録作成のため、発言をする場合は、挙手をし、私から委員の名前をお呼びするので、その後、発言をお願いします。
- ・続いて、次第の3協議事項に移る。
- ・(1) 地域活動支援事業追加募集（プレゼンテーション等）についてである。
- ・時間に限りがあるため、個人の主張や要望はご遠慮いただきたい。
- ・事務局から説明をお願いします。

【佐々木主査】

- ・プレゼンテーションに入る前に上越教育大学から地域協議会委員宛にアンケートの依頼があり、次回の地域協議会までに回答のうえ事務局に提出願いたい。
- ・「資料No.1」は、提案書を項目別に整理したものであり、提案書を事前配布してご覧いただいていることから説明は省略させていただく。
- ・本日のプレゼンテーションは、夢をかなえる会からの提案1件である。提案内容から現地視察を行わず、提案書、プレゼンテーションにより審査をお願いします。
- ・プレゼンテーションについて、提案団体にプレゼンテーション7分、質疑応答5分と通知してある。各終了1分前にベルでお知らせする。

【山岸会長】

- ・それでは、夢をかなえる会から提案があった「春を呼ぶ新春落語寄席」についてである。
- ・事務局、関係課からの所見はあるか。

【佐々木主査】

- ・所見はない。

【山岸会長】

- ・夢をかなえる会よりプレゼンテーションをお願いする。

(夢をかなえる会の五十嵐氏が、提案書等に基づきプレゼンテーションを行った。)

【山岸会長】

- ・今程のプレゼンテーションについて、質問、意見はないか。

【江村委員】

- ・頸北地域までチラシで呼びかけるとのことだが、来客数は最大でどのくらいを想定しているのか。仮に体育館を会場とした場合、時期的に寒いので暖房対応も必要になる。コロナ禍でワクチン接種も進んでいると思うが、終息していない場合の対策はどうか。

【夢をかなえる会】

- ・会場の第一候補として、吉川多目的集会場の2階の会議室を考えている。コロナ禍による最大集客数は96人である。頸北地区のどこの団体と協力していくか、まだ決めていない。例えば入場券を柿崎区、大湊区、頸城区にそれぞれ10枚、吉川区に60枚を配布して開催するとか、具体的な協議はこれからとなる。
- ・吉川区内の地域づくり会議との協力関係が課題である。町内に回覧で周知し、入場券を配布してもらうなどの連携を模索してやっていきたい。

【江村委員】

- ・完全に無料で開催するということがよいか。

【夢をかなえる会】

- ・有料にすると収入が増えてしまう。他の団体の地域活動支援事業を見ると実施団体の持ち出しをしないで取り組んでいるところもあり、もし有料とすることになった場合でも採択いただけるか、どうかということも考えている。

【五十嵐委員】

- ・江村委員の質問のコロナ対策について、回答がなかったので教えてほしい。もう一点は活動の効果を高めていきたいという具体的な案や思いがあったら教えてほしい。

【夢をかなえる会】

- ・コロナ禍の中で三密を避けながら、仮に緊急事態宣言などが発令された際は、延期もしくは中止も念頭において活動していく。
- ・活動を通して横のつながりを生み出すことができないか考えている。吉川区内の地域づくり会議と他区の文化活動をやっている団体との連携を模索してやっていきたい。それができれば、その後の活動の連携も可能になると思う。

【橋爪委員】

- ・夢をかなえる会の支援団体6法人の支援とは具体的にどのようなものか。
- ・コロナ禍による実施の判断は、夢をかなえる会で判断するのか、その場合の目安も示されていない。来客数やいろいろな面でも曖昧であり、これから決めていくという内容が多すぎる。この提案書で審査することに私としては不愉快である。支援団体による支援が不明で、実施が可能か不安である。

【夢をかなえる会】

- ・支援についてであるが、夢をかなえる会の活動を支援していただける吉川区内の個人会員からは年間3千円の協力金をいただいている。また、吉川区内の企業からは年間1口1万円の協力金をいただいております現在6社ある。
- ・イベント中止等の判断については行政の判断基準に倣い、行政と相談する中で当会として判断したい。また、それ以外の判断として、行政の判断がなくても周辺の状況等を見て、開催することが危険であると当会で判断した場合も行政と相談をする中で、実施の可否を判断したい。
- ・何も決まっていないとのことだが、スケジュールの中でこれから決めて計画を立てていくということをご理解いただきたい。

【山岸会長】

- ・他に質問がないようであれば、以上で「春を呼ぶ新春落語寄席」のプレゼンテーションを終了する。

(夢をかなえる会関係者が退席。)

【山岸会長】

- ・これから勉強会ということで10分間休憩とする。

(休憩 午前10時25分)

(再開 午前10時41分)

【山岸会長】

- ・再開する。これから審査、採点を行う。事務局から説明をお願いします。

【佐々木主査】

- ・審査、採点について説明させていただく。

(以下、採点票を基に説明。)

【山岸会長】

- ・ただいまの事務局の説明に対して質問はあるか。

(質問はなかった。)

【山岸会長】

- ・それでは審査、採点をお願いします。

(以下、会長の進行により審査、採点が行われた。)

【山岸会長】

- ・それでは事務局、回収をお願いします。事務局が回収、集計し結果が出るまで休憩とする。

(休憩 午前10時46分)

(再開 午前11時15分)

【山岸会長】

- ・採点結果が出たので、事務局から報告してもらおう。

【佐々木主査】

- ・採点結果を報告する。総合平均点が16点で、吉川区の採択方針の採択基準である13点以上となった。また、優先採択方針との整合性を可とする者10人、否とする者は1人であった。

(以下、資料No.2採点一覧表により説明。)

【山岸会長】

- ・ただいま事務局から報告があったが、質問、意見はあるか。

(質問、意見はなかった。)

【山岸会長】

- ・この提案事業について、特記事項なしで採択することとしてよろしいか。

(「はい」の声あり)

【山岸会長】

- ・それでは採択することに決した。以上で協議事項(1)令和3年度地域活動支援事業追加募集(プレゼンテーション等)についてを終了する。
- ・次に(2)自主的審議事項(公民館を含む地域活動の促進と施設の有効活用について)に入る。
- ・7月8日、7月11日と2回に分けて、東田中地区において意見交換会を開催したが、2日間の出席人数は10人であり、そのほとんどは町内会長であった。今回出された意見を紹介すると少子高齢化で地域の活動もやりづらくなったり、建物も古くなっているため、このまま残しても後々困ることになるという意見や、公民館分

館としての役目はもう要らないのではないかという意見があった。

- ・公民館事業とは何かということ私達も勉強して分かったことを説明した。やはり文部科学省が言っているように行政が積極的に関わる事業である。東田中地区では一部には建物を残してほしいという意見もあったが、大方は建物は要らないという意見に固まりつつあるように感じた。一般の方の出席がほとんどなかったのも、その方達の意見は推し量れないが、隣にはスズクラが使っていた建物もあるし、災害が起きればそこに避難もできるという意見もあった。
- ・今後、公民館活動を通して町内会を超えた地域活動をどうしていくか、私達の思いと地域の方の思いがうまく繋がっていないように感じた。その辺の皆さんの意見が出てこなかった。
- ・令和4年には、公民館分館廃止の協議が行われるので建物だけでなく、今の分館単位の絆をどのように残していくか、行政と一緒に話し合っしてほしいと薄波副会長が話された。来年度には東田中分館廃止の諮問が出されるが、その前に吉川区地域協議会として分館単位の地域の絆をどのように継続していくか、行政にも考えてもらうよう訴えていかなければならないと考えている。来年のお盆前には、そのような内容の意見書を市に提出したいと思う。この後3地区の意見交換会があるが、皆さんも地域協議会委員の立場として市民の意見を聞いてほしいと思う。副会長から補足説明があったらお願いします。

【薄波副会長】

- ・あの建物は昭和30年に建てられた貴重な建物であるため、分館として廃止してもよいが建物は残してほしい。今後、建物を残すにはどうしたらよいか行政と相談していければよいとの意見があった。

【片桐委員】

- ・8日の意見交換会の自己紹介で、公民館分館がなくなると吉川地区公民館にバスなどの送迎付きで集まってもらうか、あるいは行政から地区の町内会集会所に来てもらうという公民館活動に変わってくるという話をした。このことをもっと皆さん方から承知してもらいたいと思う。

【山岸会長】

- ・公民館分館がなくなることによって過疎化が加速的に進む危険を孕んでいることを、地域の皆さんから自覚してもらえればありがたいと思う。
- ・次の泉谷地区意見交換会であるが、地元の要望でお盆過ぎにお願いしたいということ

とで8月20日の金曜日、午後6時30分から泉谷公民館で開催したいと考えている。泉谷地区の全戸に意見交換会開催のお知らせを配布してあるので、できるだけ委員からも出席してもらいたい。この件についてご意見があればお願いしたい。

【五十嵐委員】

- ・その日は町内会の祭礼があり、欠席させていただく。

【山岸会長】

- ・他に意見がなければ、そのように開催させていただく。
- ・次に（3）その他に入る。委員の方で何かあるか。

（委員からはなかった。）

- ・事務局の方で何かあるか。

（事務局からはなかった。）

- ・次に次第4 総合事務所からの諸連絡について、事務局に願います。

【平山次長】

- ・第23回越後よしかわやったれ祭りについてお知らせする。実行委員会では、コロナ禍でもあり稲穂竿灯と奉納米の展示のみを行うとのことである。

【山岸会長】

- ・ただいまの諸連絡について、ご質問、ご意見はあるか。

（質問、意見はなかった）

- ・次に次第5 その他に入る。事務局、何かあるか。

【佐々木主査】

- ・地域協議会だより号外の発行についてお話しする。今日の会議で地域活動支援事業の追加募集による提案も採択され、また、東田中地区意見交換会の結果やこれから予定されている諮問、答申の報告もあることから号外を発行したらどうかと考えている。なお、号外の作成については恒例により事務局が作成し、地域協議会委員が確認した後に発行することになっている。

【山岸会長】

- ・ただいま事務局から説明があったが。地域協議会だよりの号外を発行することとしてよろしいか。

（「はい」の声あり）

【山岸会長】

- ・それでは地域協議会だよりの号外を発行することとする。

- ・他にないか。

【片桐委員】

- ・新型コロナワクチンの接種態勢について、上越市の取組に感謝する。職域接種をすることで各自治体は大変困っている。しかし上越市ではくびき希望館で職域接種をスムーズに行っており、全体として他自治体と比較しても上越市の接種率は高い。引き続き頑張ってもらいたい。

【山岸会長】

- ・次回の日程であるが、8月5日の木曜日、午後6時30分から吉川コミュニティプラザで行う。内容は諮問事項の上越市過疎地域持続的発展計画（案）についてや分科会の報告などである。よろしいか。

（「はい」の声あり。）

- ・他になければ、閉会の挨拶を佐藤副会長からお願いします。

【佐藤副会長】

- ・以上で第5回地域協議会を閉会する。

10 問合せ先

吉川区総合事務所 総務・地域振興グループ

Tel: 025-548-2311（内線213）

E-mail: yoshikawa-ku@city.joetsu.lg.jp

11 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。